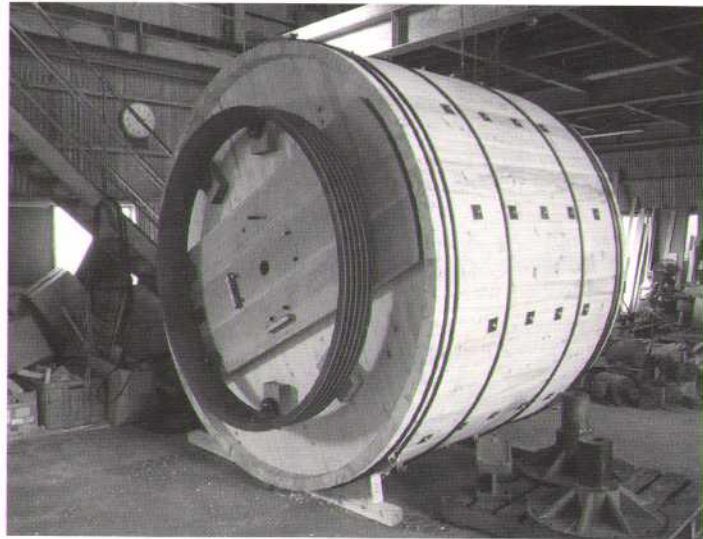


原皮加工に重要なドラム製作



木元木工所

所在地 たつの市菅田町福田181
 代表者 木元 昌文
 TEL 0791-62-1602

○創業は

父親が昭和二十四年に創業した。当時は建具製造の木工所でしたが、昭和三十三年頃に、地元の皮革業者の方からの依頼で初めて皮革製造ドラムを製作しました。その後、建具製作と平行しながら事業を行なっていました。昭和四十年頃より皮革製造ドラムの製作・据付のみを行うようになりました。

○皮革製造ドラムとは

脱水状態で塩漬けされた原皮に附着している血液等の不純物を除去すると共に、脱水された水分を補い生皮に戻す水漬け工程、水とクローム等の化学薬品を浸透させて動物性の「皮」から製品の「革」へと変化させる「なめし工程」のほか、染色工程などで使用されま

○製作工程は

仕入れた木材を並べ、側面となる面を円形にカットします。

次に寸法通りにカットした長方形の幅板が隙間無く円形に組み立てられるよう、機械カンナを用いて全ての幅板の両側面にアール（角度）を付けます。それから側面と幅板を組み上げ、製品の取り出し口をカットした後、ドラム内で原皮が絡まらないように数十本の「つく」と読んでいる木製突起物を取り付け、金属性の輪をドラムにかけて固定します。

さらに、軸や軸受け、ドラムが回転するようにプリーと呼ばれる部品を取り付け、実際の皮革製造工場で設置土台にベルト、モーターなどを据え付けて完了します。

大きなドラムは、直径3m・幅4mのものがあり、この大きさで約一五〇枚ほどの原皮を加工することができま

○職人の腕の見せ所は

幅板の加工をする際の「アール加工」と「ほぞ切り」です。

「アール加工」は、ドラムの直径と幅板の長さにより変わります。機械カンナで削りすぎると水漏れが発生し、削りが甘ければきれいな円形に組みあがらず、故障につながります。

「ほぞ切り」では両側面板と幅板を組み込むために、幅板のドラム内側面に溝を付けます。側面が円形なので溝は、「直線的」ではなく「かまぼこ型」に加工しなければならず、ノミを使って削りま

○これからは

お客様のニーズは、「価格」と「耐久性」です。使用される工程に適した木材をコスト面や強度面と検討しながら選定し、細やかなメンテナンスを通じて耐久性と安全性を高めると共に、製作技術にもより一層の磨きをかけることで、これからもお客様に安価で高品質な製品を提供していきます。